

# 読む



# ビタミン

地域に根ざす工務店

・リフォーム店を元気にするビタミンです。

## 2021年1月号

### 今月のひと言

## こんな時代になって、楽しい訳がない！

でもそれって、時代のせいにしておられませんかあ～  
楽しくないのは、「楽しいことを考えていないから」。

アウトサイド・インではダメなんですね。  
やっぱり「インサイド・アウト」じゃないと。

もっと「自分」を前面、全面に。

イソップ童話の『北風と太陽』のように、自分のアプローチ方法を変えることで相手の態度も自然と変容し、結果的に問題が解決へと向かっていくことがあります。

このように外部(アウトサイド)から問題を解決するのではなく、自分の視点と対処の仕方を変えることで問題を解決していく手法を「インサイド・アウト」と呼びます。

変化の激しい時代は続く。  
そこで、変化を生き抜いてきた先人から学びましょう。

## お手本は松翁（松下幸之助）の 「ちょっと、いい話」から



### 「素直な心」が、変化を成功に導く要。



とられるから、うまくいかん。  
「うまくいかんというのは、とられるからや。素直でないからや。だとすれば、素直でないといかん、と。素直な心こそが人間を幸せにし、また人類に繁栄と平和と幸福をもたらすものであると、わしはそう考えたんや」

しかし松下翁の言う素直な心とは、人の言うことになんでもハイハイと答えるということをしているのではありません。無邪気な心のこともなければ、幼児の心のこともない。それだけでは、ほんとうの素直な心を得られない、というのでした。

不確実なビジネス環境では、  
正確で詳細な分析に時間をかけるのではなく、  
「これは、こういうものだ」と言い切って、  
魅力的で納得できるストーリーを語り、  
周りの人を巻き込んで行くことが求められています。

そのベースが「素直にものを見る眼があるかどうか」なんでしょうね。  
素直になれる方法は、翁の著書をご参考に。



# イベント仕掛けのオレンジ

VOL.2



札幌の小さな工務店「オレンジカンパニー」のデザイナー社長が、オレンジらしさを活かしたイベント戦略に挑戦！ワクワクしながら仕事がしたいという方のお役に立てばと、その軌跡を嘘偽りなく誇張もせず、レポート形式でお伝えします。

## REPORT 2 理念とビジョン



土ほじくりマンの筆者は、WEBをつくるにしてもイベントを企画するにしても、お客様の理念や想いとことんほじくりヒアリングします。そこでお聴きした理念や想いは、ほとんどの場合新築やリフォームの“商品”の礎になるコトがとても多いのです。

(※商品としてまだまだ完成されていないコトがほとんどですが、商品になり得る原石は見つかります。)



オレンジカンパニーの場合もご多間に漏れず、JAY社長の理念や想いはステキな商品となる予感を十分にはらんでいました。

オレンジカンパニーは、住まいのリフォームや店舗改修を主な業務とされていますが「空間デザイン」を最も得意としており大好きなのだそうで、JAY社長曰く、「DESIGN=INPUT+OUTPUT」と言い切ります。

### INPUT

Designとは相手のことを考えるコトが一番大事なポイントだと思います。住まう人、使う人、利用する人なのがどうしたいのか？どうしたらワクワクしてくるのか？色々とお話を伺ううちに、アイデアも湧いてくるでしょうし、お客様も色々気づかれるコトもあるでしょう。

大事なのはこちらのアイデアを押し付けるコトではなく、価値観をお互いに共有するコトだと思います。

### OUTPUT

ヒアリングをし、価値観を共有するインプットができればデザインの開始です。建物の状況や環境、家族構成、時期、予算など、何かと制約が多くなるものですがその制約の中で何ができるのか？どうすればそのデザインを形にできるのか？お客様はそのデザインに何を感じてくださるのか？様々な角度から捉え、相手を慮り考えたデザインをプレゼンします。

**DESIGNは相手を慮る力。価値観を共有する絆。**

このINPUTとOUTPUTがオレンジカンパニーの空間デザインに対する基本姿勢としてまとめました。これらのディスカッションを何度も重ね、企業理念とビジョンを明文化しました。以下にご紹介させていただきます。

●企業理念 わくわく空間をデザインで叶える

●ビジョン わくわく札幌をデザインで叶える

住まいや店舗の空間にとどまらず様々なコミュニティ、イベントなど、人々が集い語り、共感・理解を深められるような「居場所」のデザイン(企画・プロデュース)し札幌を安全で夢と活気にあふれた街にします。



今回はここまで。次回はWEB提案のお話です。



# 不易流行

いつもポケットに「アメちゃん」を。

「ははあ、そうですか。オンライン会議で上司にあれこれキツク言われたのですね。では、まずこのアメをなめて下さい。甘くておいしいですよ。いらだちに効きますから」。さて、何の会話だと思えますか。

## ■心の栄養士の助言

答えは、ある悩み相談室でのやりとりだ。主宰するA氏は心理士の資格を持つ。栄養士ではない。そのA氏の肩書は「オンラインにおけるコミュニケーションの『心の栄養士』」である。心理学の観点に栄養という要素をからませて、オンライン時代のコミュニケーション力の活発化を目指している。

皆さんも「三大栄養素」はご存じだろう。中学校、早ければ小学校の頃に学んだのではないか。三大栄養素とは炭水化物（主に糖質）、タンパク質、脂質である。それでは順番にA氏の考え方を説明しよう。

まず糖質には即効性があり、疲労回復に役立つ。オンラインミーティング、あるいはオンラインでのやりとり、これを総称

## コミュニケーションのつぼ 新常態サバイバル ⑩

東京国際大学客員教授

山本 御稔

するとオンライン会議となる。このオンライン会議では相手が伝えてくる情報量が多いため、しばしばすべての案件への対応が難しくなる。相手が簡単なことを要求すれば問題はないが、難しい要求も多いのだ。こちらも先方の要求に応えようと努めるのだが、うまくいかないといらいらい感が募り、疲弊してしまう。こうしたオン

コミュニケーションにも三大栄養素が欠かせない

仲間に相談  
(タンパク質)

3分黙想  
(脂質)



できるもの順  
(糖質)

## 心の三大栄養素 2020.11.26

ライン会議での疲労回復に役立つのが「甘いもの順」のルールだ。ここで言う甘いものは糖質の甘さではなく、簡単に籠絡できること。英単語ならeasyだろう。すぐに片づけられる簡単なものから順番に籠絡していくことが効果的だ」とA氏は指摘する。

「比較的容易に解決できるものを選んで順番を決め、即効性の高いものから解決していきま。小さなアメを口に入れ、そのアメをなめきるまでに一つの仕事を仕上げます。次も小さなアメをなめて糖分を取りながら、課題を解決するのです」。上司から厳しい指摘を受けて落ち込んでいるという冒頭の例なら「タンパク質が重要です。タンパク質は抵抗力アップに効果的なのです。食物なら肉や魚などから得ることができ、糖質、タンパク質、脂質、仲間とのコミュニケーションにおいて仲間との会話がタンパク質になります。牛みたいに鷹揚（おうよう）で打たれ強い同僚や、魚みだいにすいすい泳ぐ仲間」に悩みを話してみよう。

抵抗する方法を学べますよ」。  
**■3分間の黙想**  
 3つめは脂質、すなわち油分だ。皮膚のかさつきを抑えるのに欠かせない栄養素でもある。精神面でも脂質が不足すると、心がかさついてしまい、「コミュニケーションに潤いがなくなってしまう。会議に潤いがなくなると、上司が一方的に言いたいことを言うばかりで、関係がギスギスしかねない。会議は双方のコミュニケーションが大切なのに、それが損なわれてしまいかねない。  
 脂質を効果的に生かすには「3分ルールが大切だ」とA氏は言う。会議の終了後に3分程度、目を閉じるのである。それがかさついた心に潤いをもたらす。無心で3分間。これだけで快活さを取り戻すことが可能だ。できるもの順に対応する糖質、仲間とのコミュニケーションで抵抗力を付けるタンパク質、そして3分間で得る潤いの脂質。このコミュニケーションの三大栄養素で、オンラインの時代を乗り切ろう。



工務店さんがいるところなら...

日本全国東奔西走どこへでも！

呑んで騒いで時折仕事。

よいどれ 早川大二の



# 渡り旅日記



## ハ十九合目 しまったたのに、しまった、太ってしまった



昨年はコロナ禍であったため、出張がほぼ全滅状態。テレワークと自宅仕事が増え、ちゅうことで4月頃から、ウォーキングと筋トレをはじめました。で、なんと7キロ痩もせたのでした。おまけに血圧、γGTPも下がり、掛かり付けの高崎先生にも褒められました。数値に成果が確実に現れ、先生に褒められたりしたら、がぜんやる気がでますよね～。

大勢での飲み会も外食もほとんどありませんでしたが、それでも一人呑みも含め、呑みの機会が増えるのがおいらの師走と正月の恒例パターン。そりゃ、太りますわいな。

▲昨年より仲良くしている同業者の前ちゃん(HESO・前川社長)こんな感ですが、超優秀です！年末、仕事納めの時“ま、一献！”と勧められるままに。



今年のダイエット目標は60キロ！（168センチ/69キロが運動前）日々旨い酒を呑みながらダイエット、この矛盾にチャレンジするおいらなのでした。

▲12月上旬 大田区のキタセツ/北川社長・役員の方と打合せを兼ねて会食。あいや～、ふぐ、フグ、河豚！！づくしでおま。ひれ酒が進みます。



▲密になってはいけない！よって、一人でホルモン屋とか風通しのいい立ち呑み屋とか・・・まあ、それはそれで良いのですが、話し相手がいないと食べ過ぎ、呑み過ぎに。風通しがいいと寒いので、熱燗をジャブジャブと・・・まあ、過剰に一気にカロリーを取る事ができます！



▼息子が函館から帰ってきた正月。刺身、ローストビーフ、焼豚、おせち、ぶり大根、数の子、なます、そしておいら特性の塩辛！嗚呼、奮発し過ぎた、呑み過ぎた！



ともあれご同輩、体調管理には留意され、ご自愛ください。本年もよろしくお願ひいたします。